

そとまち
外町遺跡の範囲確認調査

調査の概要

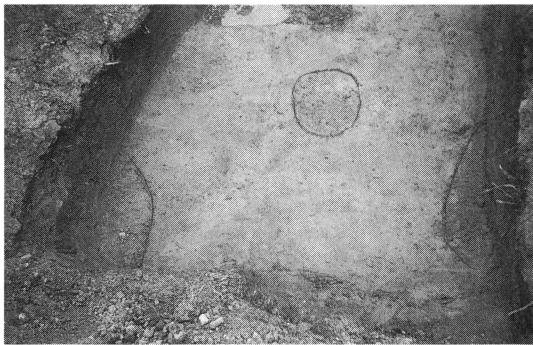
外町遺跡は西春日井郡清洲町と新川町の境界付近で、清洲城下町遺跡のすぐ南に位置している。中世以降の美濃街道に面していることから、中・近世の遺跡であると想定された。

今回の調査は県道新川一基目寺線建設にともないその範囲を確認するために実施した。調査は12箇所テスト・トレンチを設定し、遺跡の所在の確認をおこなった。

調査の所見

外町遺跡の範囲は遺構・遺物の検出状況からトレンチNo. 6とトレンチNo. 7の間に設定しうる。遺物は西に行くほど濃密で旧美濃街道に面した地点ではかなり多量の遺物が出土した。遺物は近世のものがほとんどであるが中世陶器も若干見られた。

また、これとは別にトレンチNo. 1、2及び周囲の畑には古墳時代の須恵器、土師器、中世陶器、近世陶磁器等の遺物が見られ、水田として削平されていない標高が高い部分については、いくつもの時代にわたる遺跡が存在する可能性が高い。 (城ヶ谷和広)



トレンチNo.10 遺構検出状況



トレンチNo.12 出土遺物



外町遺跡 範囲確認調査地点 (1/5000)